安全データシート

整理番号 ： SL-M-20-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者
：会　　社　**タキロン株式会社**
：住　　所　〒671-2421
兵庫県姫路市安富町長野 405
：担当部門　安富工場 技術グループ
：電　　話　0790-66-2285
：ファックス　0790-66-2378

作　成　日 ：2012 年 8 月 1 日
改　訂　日 ：2015 年 1 月 7 日

製　品　名 ：**タキシール#６００　Ｕ－２３０**

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
皮膚感作性	：区分1
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	：区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	：区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	：区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ：危険

危険有害性情報 ：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ：使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	68%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.6%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.7%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	4.9%	化審法:2-3144
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	2.8%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	3.1%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	6.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存

４．応急措置

吸入した場合	：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	：直ちに医師に診断/手当てを受けること。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：橙色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲	：データなし
引火点	：47 ℃ （推定値）
自然発火温度	：データなし
爆発範囲の下限	：データなし
爆発範囲の上限	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度	：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重	：データなし
水への溶解性	：データなし
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の状態では安定。
避けるべき条件	：湿気，高温
混触危険物質	：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物
危険有害反応可能性	：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	：分類できない
急性経皮毒性	：分類できない
急性吸入毒性	：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
感作性	：呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 41.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: ＞ 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 6.82 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化鉄

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: 0.175 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:種: ウサギ
	結果: 皮膚に刺激性。
眼に対する重篤な損傷性	:種: ウサギ
又は眼刺激性	結果: 目に治癒不可能な影響を与える
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:試験方法: Maximisation法
	種: モルモット
	結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
	試験方法: データなし
	結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。
生殖細胞変異原性	
in vitro での遺伝毒性	:タイプ: Ames 試験
	結果: 陰性

:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性 :タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口
結果: 陰性

シリカ

急性経口毒性 :LD50 ラット: > 3,300 mg/kg

急性経皮毒性 :LD50 ウサギ: > 5,000 mg/kg

特定標的臓器毒性, 反復ばく露 :アセスメント：この物質または混合物は、特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1に分類される。

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性） : 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性） : 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性 :LC50 (Lepomis macrochirus（ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 :EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 :EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata（セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性 :LC50 (Oryzias latipes（ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 :EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性 :EC50 (セレナストラム カプリコウナータム（緑藻類）): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l 曝露時間: 48 h
藻類に対する毒性	: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l 曝露時間: 72 h

シリカ

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Danio rerio (ゼブラダニオ)): ＞ 10,000 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): ＞ 10,000 mg/l 曝露時間: 48 h
藻類に対する毒性	:EC50 (Desmodesmus subspicatus (セネデスムス・サブスピカトゥス(イカダモの一種))): ＞ 10,000 mg/l 曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　: 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　: 非危険物

IMDG　：非危険物

国内規制

陸上輸送　：消防法等の規定に従う。

海上輸送　：規制なし

航空輸送　：規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　：171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[酸化チタン（ＩＶ），酸化鉄，シリカ]
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法　：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］

消防法　：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　:自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009

日本工業規格(JIS) Z7253:2012

その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-21-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－３０１**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-22-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８１０**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-23-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８１１**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-24-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８１２**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-25-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８１３**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-26-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８１４**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-27-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８２３**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-28-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８３１**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス·DBP・テトラデカン・ダイアジノン·アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-29-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 8 月 1 日	
製　品　名	：	**タキシール#６００　Ｕ－８５５**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
カーボンブラック	―	1333-86-4	0.3%	化審法:5-3328
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	3.8%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	1.0%	化審法:既存

４．応急措置

吸入した場合 ：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 ：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 ：直ちに医師に診断/手当てを受けること。
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 ：無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 ：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 ：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤 ：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）

使ってはならない消火剤 ：なし

特有の危険有害性 ：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

消火を行う者の保護 ：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。

詳細情報 ：付近の発火源となるものを取り除く。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置 ：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

カーボンブラック　：TWA 3 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：淡茶色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲	：データなし
引火点	：47 ℃ （推定値）
自然発火温度	：データなし
爆発範囲の下限	：データなし
爆発範囲の上限	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度	：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重	：データなし
水への溶解性	：データなし
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の状態では安定。
避けるべき条件	：湿気，高温
混触危険物質	：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物
危険有害反応可能性	：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	：分類できない
急性経皮毒性	：分類できない
急性吸入毒性	：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
感作性	：呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 41.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: ＞ 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 6.82 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: 0.175 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:種: ウサギ
	結果: 皮膚に刺激性。
眼に対する重篤な損傷性	:種: ウサギ
又は眼刺激性	結果: 目に治癒不可能な影響を与える
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:試験方法: Maximisation法
	種: モルモット
	結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
	試験方法: データなし
	結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。
生殖細胞変異原性	
in vitro での遺伝毒性	:タイプ: Ames 試験
	結果: 陰性
	:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
	結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口
結果: 陰性

酸化鉄

急性経口毒性　:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）　: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l

物に対する毒性　　曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　　: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　　: 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　　: 非危険物

IMDG　　: 非危険物

国内規制

陸上輸送　　: 消防法等の規定に従う。

海上輸送　　: 規制なし

航空輸送　　: 規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　　: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　　: 171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法	：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））［酸化チタン（ＩＶ），カーボンブラック ， 酸化鉄 ，シリカ］ 労働安全衛生法施行令 － 別表第一（危険物）引火性の物
化審法	：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］
消防法	：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　：自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-30-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 8 月 28 日	
製　品　名	：	**タキシール#６００　Ｕ－８８０**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	4.6%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	5.3%	化審法:既存
シリカ	―	非公開	5.1%	化審法:既存

４．　応急措置

吸入した場合	：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	：直ちに医師に診断/手当てを受けること。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：灰色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲　：データなし

引火点　：47 ℃ （推定値）

自然発火温度	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: 約 1.12 g/cm3 (25 ℃)
比重	: データなし
水への溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の状態では安定。
避けるべき条件	: 湿気, 高温
混触危険物質	: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物
危険有害反応可能性	: NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	: 分類できない
急性経皮毒性	: 分類できない
急性吸入毒性	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2A
感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性　:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性　:LD50 ラット: ＞ 5,000 mg/kg
急性吸入毒性　:LC50 ラット: ＞ 41.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性　:LD50 ラット: ＞ 20,000 mg/kg
急性経皮毒性　:LD50 ウサギ: ＞ 10,000 mg/kg
急性吸入毒性　:LC50 ラット: ＞ 6.82 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性　:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性　:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性　:LC50 ラット: 0.175 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

皮膚腐食性及び皮膚刺激性　:種: ウサギ
結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　:種: ウサギ
結果: 目に治癒不可能な影響を与える

呼吸器感作性又は皮膚感作性　:試験方法: Maximisation法
種: モルモット
結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
試験方法: データなし
結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。

生殖細胞変異原性

in vitro での遺伝毒性　:タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口
結果: 陰性

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　：区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）：区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l 曝露時間: 48 h
藻類に対する毒性	:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l 曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l 曝露時間: 48 h
藻類に対する毒性	:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l 曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l 曝露時間: 48 h
藻類に対する毒性	: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l 曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　：データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　：log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　：分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　：非危険物

IMDG　：非危険物

国内規制

陸上輸送　：消防法等の規定に従う。

海上輸送　：規制なし

航空輸送　：規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　：171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[酸化チタン（ＩＶ），シリカ]
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法　：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］

消防法　：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　:自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-31-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－８８１**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-32-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 8 月 28 日	
製　品　名	：	**タキシール#６００　Ｕ－８８３**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
カーボンブラック	―	1333-86-4	0.5%	化審法:5-3328
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	4.1%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	4.1%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	1.5%	化審法:既存

４．応急措置

吸入した場合	：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	：直ちに医師に診断/手当てを受けること。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

カーボンブラック　：TWA 3 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：淡茶色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲	：データなし
引火点	：47 ℃ （推定値）
自然発火温度	：データなし
爆発範囲の下限	：データなし
爆発範囲の上限	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度	：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重	：データなし
水への溶解性	：データなし
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の状態では安定。
避けるべき条件	：湿気，高温
混触危険物質	：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物
危険有害反応可能性	：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	：分類できない
急性経皮毒性	：分類できない
急性吸入毒性	：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
感作性	：呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 41.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: ＞ 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 6.82 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化鉄

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: 0.175 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:種: ウサギ
	結果: 皮膚に刺激性。
眼に対する重篤な損傷性	:種: ウサギ
又は眼刺激性	結果: 目に治癒不可能な影響を与える
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:試験方法: Maximisation法
	種: モルモット
	結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
	試験方法: データなし
	結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。
生殖細胞変異原性	
in vitro での遺伝毒性	:タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

:タイプ: 染色体異常 試験管内検査

結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験

テスト種: ラット（オス）

投与経路: 経口

結果: 陰性

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Lepomis macrochirus（ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l

曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l

曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata（セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l

曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes（ヒメダカ)): > 100 mg/l

曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l

曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム（緑藻類）): > 1,000 mg/l

曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes（ヒメダカ)): > 100 mg/l

曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　: 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　:非危険物

IMDG　:非危険物

国内規制

陸上輸送　:消防法等の規定に従う。

海上輸送　:規制なし

航空輸送　:規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　: 171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法	：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））［シリカ，酸化チタン（ＩＶ），カーボンブラック，酸化鉄］ 労働安全衛生法施行令 － 別表第一（危険物）引火性の物
化審法	：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］
消防法	：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　：自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-33-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 8 月 28 日	
製　品　名	：	**タキシール#６００　Ｕ－８８５**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
カーボンブラック	―	1333-86-4	0.5%	化審法:5-3328
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	4.1%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	4.6%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	1.0%	化審法:既存

４．応急措置

吸入した場合	：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	：直ちに医師に診断/手当てを受けること。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

カーボンブラック　：TWA 3 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：淡茶色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲	：データなし
引火点	：47 ℃ （推定値）
自然発火温度	：データなし
爆発範囲の下限	：データなし
爆発範囲の上限	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度	：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重	：データなし
水への溶解性	：データなし
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の状態では安定。
避けるべき条件	：湿気，高温
混触危険物質	：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物
危険有害反応可能性	：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	：分類できない
急性経皮毒性	：分類できない
急性吸入毒性	：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
感作性	：呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 41.1 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: ＞ 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 6.82 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: 0.175 mg/l
	曝露時間: 4 h
	試験環境: 粉塵およびミスト
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:種: ウサギ
	結果: 皮膚に刺激性。
眼に対する重篤な損傷性	:種: ウサギ
又は眼刺激性	結果: 目に治癒不可能な影響を与える
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:試験方法: Maximisation法
	種: モルモット
	結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
	試験方法: データなし
	結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。
生殖細胞変異原性	
in vitro での遺伝毒性	:タイプ: Ames 試験
	結果: 陰性
	:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
	結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口
結果: 陰性

酸化鉄

急性経口毒性　:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）　: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l

物に対する毒性　　曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　　: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　　: 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　　: 非危険物

IMDG　　: 非危険物

国内規制

陸上輸送　　: 消防法等の規定に従う。

海上輸送　　: 規制なし

航空輸送　　: 規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　　: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　　: 171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））［シリカ，酸化チタン（ＩＶ），カーボンブラック，酸化鉄］
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法　：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］

消防法　：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　:自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-34-5

１．製造及び会社情報

情報提供者	： 会　　社	**タキロン株式会社**
	： 住　　所	〒671-2421
		兵庫県姫路市安富町長野 405
	： 担当部門	安富工場 技術グループ
	： 電　　話	0790-66-2285
	： ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月　1 日
改　訂　日	：	2015 年 4 月 10 日
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－９１０**
推奨用途及び使用上の制限	：	ウレタン樹脂系一液形接着剤

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	非該当
健康有害性	皮膚感作性　区分 1
環境有害性	非該当

※上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物	混合物
危険有害成分（危険有害不純物）	石油ナフサ（脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤に含有）

組成

化学名又は一般名	濃度範囲（wt%）	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)
ウレタン樹脂	45～55	―	7-820
無機系充填材	35～45	471-34-1	1-122
脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤	5～15	64742-48-9	9-1689

４．応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
回収、中和	本製品はペースト状で流動性がないので、漏出のおそれはないが漏出物はウエス等で拭取り、密閉出来る容器に回収する。
二次災害の防止策	火気厳禁の処置をとる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。 電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。 工具は火花防止型のものを用いる。 局所排気を行い、換気の良い場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
接触回避	酸化物・有機過酸化物と接触混合させてはならない。
保管	
安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。
混触禁止物質	酸化物・有機過酸化物と同一場所に置かない。
容器包装材料	移し変えてはならない。

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：1200 mg/m³（ACGIH） （原料メーカーMSDS：2013/8/9 による）
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。
手の保護具	必要に応じ手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じ保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	ペースト状
色	指定各色
臭い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜-40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：147～199℃
引火点	55℃
爆発範囲	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：爆発限界点：0.6～7vol%
蒸気圧	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：210Pa／20℃
蒸気密度（空気=1）	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＞1
密度	1.29 ／ 23℃
溶解度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：＜0.1wt%／水／20℃
自然発火温度	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：200℃以上

10. 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、着火源付近や高温での保管、混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11. 有害性情報

急性毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：LD50＞15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:LD50＞3160mg/kg 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	添加剤情報： モルモットを用いたmaximization test、Draize test の複数の試験おいて感作性を示し（NTP GMM. No. 4 (2005)）、ヒトボランティアによる感作性試験で陽性（NTP GMM. No. 4(2005)）、当該物質を扱う作業者のパッチテストで陽性を示す複数の報告がある（NTP GMM. No. 4 (2005)）
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	添加剤情報： ラットの経皮投与による発生毒性試験において母体への軽度の毒性が認められたが、胎児への催奇性の所見は見られていない（NTP GMM. No. 4 (2005)）。一方、ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験において、着床後死亡率、胎仔の死亡率への影響が認められている（RTECS (2003);NTIS** National Technical Information

Service.）

特定標的臓器毒性－単回ばく露	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:中枢神経に悪影響することがある
特定標的臓器毒性－反復ばく露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤：易分解性であると予測される。
生体蓄積性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤:非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13. 廃棄上の注意

・内容物及び空容器の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。
・焼却により発生した廃棄物も同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
・廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性固体類）
労安法	
有機則	第 3 種有機溶剤：石油ナフサ
表示物質	非該当
通知物質	石油ナフサ：5～15wt%
ＰＲＴＲ法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制対象（石油ナフサ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

出典	原料メーカーのＭＳＤＳ ＮＩＴＥのＧＨＳ分類結果データベース

脂肪族/脂環式炭化水素混合溶剤組成	脂肪族：パラフィン系（C8～C12：約 50%） 脂環式：ナフテン系　（C8～C13：約 50%）
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	TVOC を除く DOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス･DBP・テトラデカン・ダイアジノン･アセトアルデヒド・フェノルカルブの使用は無い。
指針番号	171
その他	ホルムアルデヒドの発生及び石綿の使用は無い。

【注意】

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。

・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-35-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 9 月 26 日	
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－９５３**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	： 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 区分2（呼吸器系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： 皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策	：使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。 取扱い後は手および顔をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。 眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。 飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。 特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。
保管	：施錠して保管すること。
廃棄	：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
銅及びその化合物	非公開	非公開	0.5%	化審法:既存
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	3.0%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	4.6%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	2.0%	化審法:既存

４．応急措置

吸入した場合 ： 異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 ： 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 ： 直ちに医師に診断/手当てを受けること。
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 ： 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 ： 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 ： 症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。 漏れた場所の周辺から人を退避させる。 有害性を知らせる。
環境に対する注意事項	：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：火花を発生させない工具を使用すること。 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。 少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。 溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。 中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比） 非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク
手の保護具　：保護手袋
眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面
皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体
形状　：ペースト
色　：灰色
臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし
融点・凝固点　：データなし
沸点，初留点及び沸騰範囲　：データなし
引火点　：47 ℃ （推定値）
自然発火温度　：データなし
爆発範囲の下限　：データなし
爆発範囲の上限　：データなし
蒸気圧　：データなし
密度　：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重　：データなし
水への溶解性　：データなし
n-オクタノール／水分配係数　：データなし
分解温度　：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性　：通常の状態では安定。
避けるべき条件　：湿気，高温
混触危険物質　：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物　：窒素酸化物
危険有害反応可能性　：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。
酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	: 分類できない
急性経皮毒性	: 分類できない
急性吸入毒性	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2A
感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分2(呼吸器系) 区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: > 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: > 41.1 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: > 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: > 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: > 6.82 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

銅及びその化合物

急性経口毒性	:LD50 ラット: > 10,000 mg/kg

酸化鉄

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,200 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: 0.175 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:種: ウサギ 結果: 皮膚に刺激性。
眼に対する重篤な損傷性	:種: ウサギ
又は眼刺激性	結果: 目に治癒不可能な影響を与える
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:試験方法: Maximisation法 種: モルモット 結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。 試験方法: データなし 結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。
生殖細胞変異原性	
in vitro での遺伝毒性	:タイプ: Ames 試験 結果: 陰性 :タイプ: 染色体異常 試験管内検査 結果: 陽性
in vivoでの遺伝毒性	:タイプ: 小核試験 テスト種: ラット（オス） 投与経路: 経口 結果: 陰性

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性	:LC50 (Lepomis macrochirus（ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l 曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

銅及びその化合物

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ニホンメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　：非危険物

IMDG　：非危険物

国内規制

陸上輸送　：消防法等の規定に従う。

海上輸送　：規制なし

航空輸送　：規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　：171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[シリカ，酸化チタン（ＩＶ），銅及びその化合物，酸化鉄]
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法　：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］

消防法　：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　:自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-36-3

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 7 月 9 日	
製　品　名	：	**タキシール#６００　Ｕ－９８０**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置　：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。
眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

保管　：施錠して保管すること。

廃棄　：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性　：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	4.6%	化審法:1-558
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存

４．　応急措置

吸入した場合	：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。 症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	：直ちに医師に診断/手当てを受けること。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：無理に吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 口を水ですすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	：症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立

ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を避難させる。
作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
漏れた場所の周辺から人を退避させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：火花を発生させない工具を使用すること。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）
非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体

形状　：ペースト

色　：灰色

臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし

融点・凝固点　：データなし

沸点，初留点及び沸騰範囲　：データなし

引火点　：47 ℃ （推定値）

自然発火温度	：データなし
爆発範囲の下限	：データなし
爆発範囲の上限	：データなし
蒸気圧	：データなし
密度	：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重	：データなし
水への溶解性	：データなし
n-オクタノール／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性	：通常の状態では安定。
避けるべき条件	：湿気，高温
混触危険物質	：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	：窒素酸化物
危険有害反応可能性	：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	：分類できない
急性経皮毒性	：分類できない
急性吸入毒性	：分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：区分2A
感作性	：呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：区分2
生殖毒性	：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg

急性経皮毒性　:LD50 ラット: 4,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性　:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg

急性経皮毒性　:LD50 ラット: > 5,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: > 41.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性　:LD50 ラット: > 20,000 mg/kg

急性経皮毒性　:LD50 ウサギ: > 10,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: > 6.82 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性　:LD50 ラット: 3,200 mg/kg

急性経皮毒性　:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: 0.175 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

皮膚腐食性及び皮膚刺激性　:種: ウサギ
結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　:種: ウサギ
結果: 目に治癒不可能な影響を与える

呼吸器感作性又は皮膚感作性　:試験方法: Maximisation法
種: モルモット
結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
試験方法: データなし
結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。

生殖細胞変異原性

in vitro での遺伝毒性　:タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口

結果: 陰性

特定標的臓器毒性, 単回ばく露　:標的臓器: 気道
アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分1に分類される。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露　:標的臓器: 気道
アセスメント: この物質または混合物は、特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1に分類される。

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）　: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　: 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　: 非危険物

IMDG　: 非危険物

国内規制

陸上輸送　: 消防法等の規定に従う。

海上輸送　: 規制なし

航空輸送　: 規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　: 171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法	：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））［シリカ，酸化チタン（ＩＶ）］ 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物
化審法	：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン］
消防法	：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　：自社データ
日本工業規格(JIS) Z7252:2009
日本工業規格(JIS) Z7253:2012
その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

安全データシート

整理番号 ： SL-M-37-2

１．製造名及び会社情報

情報提供者	：	会　　社	**タキロン株式会社**
	：	住　　所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	：	担当部門	安富工場 技術グループ
	：	電　　話	0790-66-2285
	：	ファックス	0790-66-2378
作　成　日	：	2012 年 8 月 1 日	
改　訂　日	：	2014 年 7 月 9 日	
製　品　名	：	**タキシール＃６００　Ｕ－９８３**	

２．危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	： 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	： 区分2A
皮膚感作性	： 区分1
発がん性	： 区分2
生殖毒性	： 区分1B
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 区分2（呼吸器系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（吸入）	： 区分2（肺）
水生環境有害性（急性有害性）	： 区分3
水生環境有害性（長期間有害性）	： 区分3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル ：

注意喚起語 ： 危険

危険有害性情報 ： 皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露により吸入することによる臓器（肺）の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策	：使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。 取扱い後は手および顔をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	：皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹸）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。 眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。 飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。 特別な処置が緊急に必要である場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。
保管	：施錠して保管すること。
廃棄	：内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	：水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

３．　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名(別名)	化学特性 (示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	非公開	66%	化審法:登録済み
m-キシリレンジイソシアネート	C10-H8-N2-O2	3634-83-1	0.5%	化審法:3-2216
N-メチル-2-ピロリドン	C5-H9-N-O	872-50-4	5.8%	化審法:5-113 安衛法:8-(1)-1013
C10-13 イソパラフィン	非公開	非公開	3.9%	化審法:既存
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	C6-H12-O3	108-65-6	5.1%	化審法:2-3144
酸化チタン	Ti-O2	13463-67-7	3.5%	化審法:1-558
安定剤	非公開	非公開	1.6%	化審法:既存
色材	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
シリカ	非公開	非公開	5.1%	化審法:既存
酸化鉄	非公開	非公開	1.5%	化審法:既存

４．　応急措置

吸入した場合 ： 異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動する。
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 ： 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 ： 直ちに医師に診断/手当てを受けること。
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 ： 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 ： 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 ： 症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤	：棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	：なし
特有の危険有害性	：当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
消火を行う者の保護	：消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
詳細情報	：付近の発火源となるものを取り除く。 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火活動は、可能な限り風上から行う。 容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置	：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。 漏れた場所の周辺から人を退避させる。 有害性を知らせる。
環境に対する注意事項	：漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：火花を発生させない工具を使用すること。 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。 少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。 溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。 中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比） 非水溶性の製品が水上に流出した場合は、適切な吸収材を使用して回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：8章の「設備対策」を参照する。
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵が発生しないようにする。

安全取扱注意事項　：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに粉塵を発散させない。
発散した粉塵を吸い込まないようにする。

接触回避　：乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
法令等により規定された基準に従って保管する。

衛生対策　：取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件　：施錠して保管すること。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。
混触禁止物質：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等

安全な容器包装材料　：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告[2013]

N-メチル-2-ピロリドン　：OEL-M 1 ppm (4 mg/m3)

ACGIH[2013]

酸化チタン　：TWA 10 mg/m3

酸化鉄　：TWA 5 mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具　：防じんマスク
手の保護具　：保護手袋
眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面
皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全靴，安全帽，保護前掛け

９．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：固体
形状　：ペースト
色　：灰色
臭い　：溶剤臭

安全性データ

pH　：データなし
融点・凝固点　：データなし
沸点，初留点及び沸騰範囲　：データなし
引火点　：47 ℃ （推定値）
自然発火温度　：データなし
爆発範囲の下限　：データなし
爆発範囲の上限　：データなし
蒸気圧　：データなし
密度　：約 1.12 g/cm3 （ 25 ℃ ）
比重　：データなし
水への溶解性　：データなし
n-オクタノール／水分配係数　：データなし
分解温度　：データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性　：通常の状態では安定。
避けるべき条件　：湿気，高温
混触危険物質　：アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物　：窒素酸化物
危険有害反応可能性　：NCO基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。
酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。

１１．有害性情報

製品:

急性経口毒性	: 分類できない
急性経皮毒性	: 分類できない
急性吸入毒性	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2A
感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない ※区分1 のm-キシリレンジイソシアネートを0.5%含有する。 皮膚感作性: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分2(呼吸器系) 区分2(肺)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性経口毒性	:LD50 ラット: 3,990 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: 4,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: ＞ 5.1 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性経口毒性	:LD50 ラット, オス: 8,532 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ラット: > 5,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: > 41.1 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

酸化チタン

急性経口毒性	:LD50 ラット: > 20,000 mg/kg
急性経皮毒性	:LD50 ウサギ: > 10,000 mg/kg
急性吸入毒性	:LC50 ラット: > 6.82 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉塵およびミスト

酸化鉄

急性経口毒性	:LD50 ラット: ＞ 10,000 mg/kg

m-キシリレンジイソシアネート

急性経口毒性　:LD50 ラット: 3,200 mg/kg

急性経皮毒性　:LD50 ラット: ＞ 2,000 mg/kg

急性吸入毒性　:LC50 ラット: 0.175 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉塵およびミスト

皮膚腐食性及び皮膚刺激性　:種: ウサギ
結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　:種: ウサギ
結果: 目に治癒不可能な影響を与える

呼吸器感作性又は皮膚感作性　:試験方法: Maximisation法
種: モルモット
結果: この製品は皮膚感作性物質、細区分1Aである。
試験方法: データなし
結果: 人間に高率の呼吸器系過敏性が発現する可能性または証拠がある。

生殖細胞変異原性

in vitro での遺伝毒性　:タイプ: Ames 試験
結果: 陰性
:タイプ: 染色体異常 試験管内検査
結果: 陽性

in vivoでの遺伝毒性　:タイプ: 小核試験
テスト種: ラット（オス）
投与経路: 経口
結果: 陰性

１２．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　: 区分3

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）　: 区分3

成分:

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Lepomis macrochirus（ブルーギル サンフィッシュ)): 832 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 4,897 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルタム(緑藻類))): 501 mg/l
曝露時間: 72 h

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 373 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　:EC50 (セレナストラム カプリコウナータム (緑藻類)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 72 h

m-キシリレンジイソシアネート

急性毒性

魚毒性　:LC50 (Oryzias latipes (ヒメダカ)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性　:EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 33 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類に対する毒性　: ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitatam (旧: セレナストラム) (緑藻類)): > 100 mg/l
曝露時間: 72 h

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　: データなし

成分:

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

n-オクタノール／水分配係数　: log Pow: 0.36

他の有害影響

オゾン層への有害性　: 分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

IATA　：非危険物

IMDG　：非危険物

国内規制

陸上輸送　：消防法等の規定に従う。

海上輸送　：規制なし

航空輸送　：規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件　：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
移送時にイエローカードを保持する。
火気厳禁

応急措置指針番号　：171

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2（施行令別表第9））[シリカ，酸化チタン（ＩＶ），酸化鉄]
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）引火性の物

化審法　：優先評価化学物質［Ｎ－メチル－２－ピロリドン]

消防法　：指定可燃物，可燃性固体類

既存化学物質リスト

日本	化審法:	・製品中のすべての成分は、登録されているか規則に従い届出されている。
アメリカ	TSCA:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
EU	REACH:	・別途お問い合わせください。
カナダ	DSL, NDSL:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
オーストラリア	AICS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
韓国	KECI:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
中国	IECSC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
ニュージーランド	NZIoC:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。
フィリピン	PICCS:	・登録または届出が確認されていない成分を含んでいる。

１６．その他の情報

参考文献等　　:自社データ

日本工業規格(JIS) Z7252:2009

日本工業規格(JIS) Z7253:2012

その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。